

幹線ガス導管管理局リビウトランスガス・ウヘルシコ昇圧圧縮機場・2002年3月12日

ガスエンジン駆動圧縮機10GKNA： 開放点検・修理なしで 運転する原動機部

幹線ガス導管管理局リビウトランスガス、ウヘルシコ昇圧圧縮機場・承認：幹線ガス導管管理局技師長R.I. コヴァリ・作業実施者：VV技術有限責任会社（ヴィンニツャ）

ウヘルシコ昇圧圧縮機場、ウクライナ・2002年3月12日付確認書・1,831 h運転後の寸法測定

製品

XADO RVS

XADO技術による修理・再生作業

対象機

ガスエンジン駆動圧縮機
10GKNA、4号機原動機部（エンジンシリンダの
ピストン・シリンダ部）

文書の種類

技術確認書
幹線ガス導管管理局リビウ
トランスガス

幹線ガス導管管理局技師長の承認、発注者および作業実施者の署名、押印

機械類

作業後の運転時間

測定内容

ガスエンジン駆動圧縮機10GKNA、4号機、ウヘルシコ昇圧圧縮機場

1,831 h

第1・第7エンジンシリンダの寸法・形状、ピストンおよび圧力リングの状態

原動機部の寸法測定は2002年3月12日に実施された。結果は、修理・再生作業前後の寸法・形状パラメータの比較により得られた。

主要な結果

↑ 2000 h

同じ処理実施者による保証の下で従来の修理間隔に加算されたエンジン運転時間

2002年3月12日の寸法測定によるガスエンジン駆動圧縮機 の原動機部

部位	確認内容
ピストン・シリンダ部	摩耗 5～7% 以下（第1・第7エンジンシリンダの寸法測定データによる）
第1・第7エンジンシリンダ	寸法・形状を修理・再生作業前の測定値と比較
第1エンジンシリンダのピストン	要交換：第1圧カリングおよびセカンドランドの機械的破損
ガスエンジン駆動圧縮機の運転	圧カリングおよびセカンドランドの破損にもかかわらず、特有の打音なし

エンジンシリンダの寸法測定報告書および比較表は、本確認書の別添として作成されている。

原動機部の保守に関する決定

項目	内容
次回の定期整備TO-3	原動機部の開放点検・修理は実施しない（VV技術有限責任会社技術部の推奨）
連続運転	ガスエンジン駆動圧縮機4号機で 6,000 h （VV技術有限責任会社による保証）
修理間隔	従来の修理間隔に対して +2,000 h （同一の保証による）

推奨および保証は作業実施者によるものである。確認書は幹線ガス導管管理局リビウトランスガスの技師長が承認し、発注者側が署名している。

確認書の結論

エンジンシリンダの寸法測定報告書および比較表に基づき、委員会は以下のとおり確認した。

1. 第1エンジンシリンダのピストンは、第1圧力リングおよび第1・第2圧力リング間のリングランドの機械的破損により、交換を要する。
2. 第1エンジンシリンダのピストンの圧力リングおよびリングランドが破損しているにもかかわらず、ガスエンジン駆動圧縮機の運転時に特有の打音は認められなかった。
3. 第1・第7シリンダの寸法測定データから、ピストン・シリンダ部の摩耗は**5～7%**以下である。以上に基づき、VV技術有限責任会社技術部は、次回の定期整備TO-3において原動機部の開放点検・修理を実施しないことを推奨し、ガスエンジン駆動圧縮機4号機の**6,000 h**にわたる連続運転を保証する。すなわち、修理間隔を**2,000 h**延長するものである。



© XADO. 無断転載禁止。

本結果は、幹線ガス導管管理局リビウトランスガスのウヘルシコ昇圧圧縮機場におけるガスエンジン駆動圧縮機10GKNA（4号機）に関するものであり、他の機器や運転条件では測定項目の値が異なる場合がある。修理・再生作業はVV技術有限責任会社が行っており、定期整備TO-3に関する推奨および修理間隔の保証も同社によるものである。RVSはXADOの旧称であり、第0世代の製品を指す。現行世代の製品はリバイタリザント（摩擦面再生剤）である。確認書の原本は全文が公開されており、ダウンロード可能である。